

■ 消化器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）-内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	100	2.45	2.57	0.00%	70.83	
060340xx03x00x	胆管（肝内外）結石、胆管炎-限局性腹腔膿瘍手術等-処置2:なし-副病:なし	13	12.92	8.88	0.00%	81.85	
060020xx04xxxx	胃の悪性腫瘍-内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術	12	10.83	7.45	0.00%	81.58	
060140xx97x0xx	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの）-その他の手術あり-処置2:なし	12	10.42	10.93	0.00%	73.25	
060035xx04xx0x	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍-内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術-副病:なし	10	6.50	3.73	0.00%	75.30	

消化器内科では、小腸大腸の良性腫瘍(ポリープ)が最も多い疾患となっています。当院では、早期のポリープに対しては、内視鏡を使用した切除術を行っており、患者さんの負担が小さく、短期間で退院することができます。次いで胆管結石の患者さんが多く、侵襲性を低くするために内視鏡を用いて結石を取り除いたり、胆管の中にチューブ（ステント）を挿入するなど、症例に応じて様々な処置を行います。また、早期の胃の悪性腫瘍に対しても、患者さんの負担が少ない内視鏡を用いた切除術を行っています。